

日本郵船のグループ企業です



日本フィールド&マリン エンジニアリング株式会社

Japan Field&Marine Engineering

電気、機械、冷熱、計装などの幅広い技術力と現場力で、
お客様の多彩なニーズに対応いたします。

当社ホームページ



高専卒向け
管理本部 人事グループ





日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

目次

- ・日本郵船グループ紹介
- ・日本フィールド&マリンエンジニアリングの紹介
 - 企業情報、取扱製品
 - 仕事の紹介（船舶、発電、設計、計装、リーファー、派遣）
 - 仕事の流れ（日帰り作業、1週間の宿泊出張）
 - 社員への支援（人材育成、福利厚生）
 - 募集要項（採用・インターンシップ）
 - 社員インタビュー



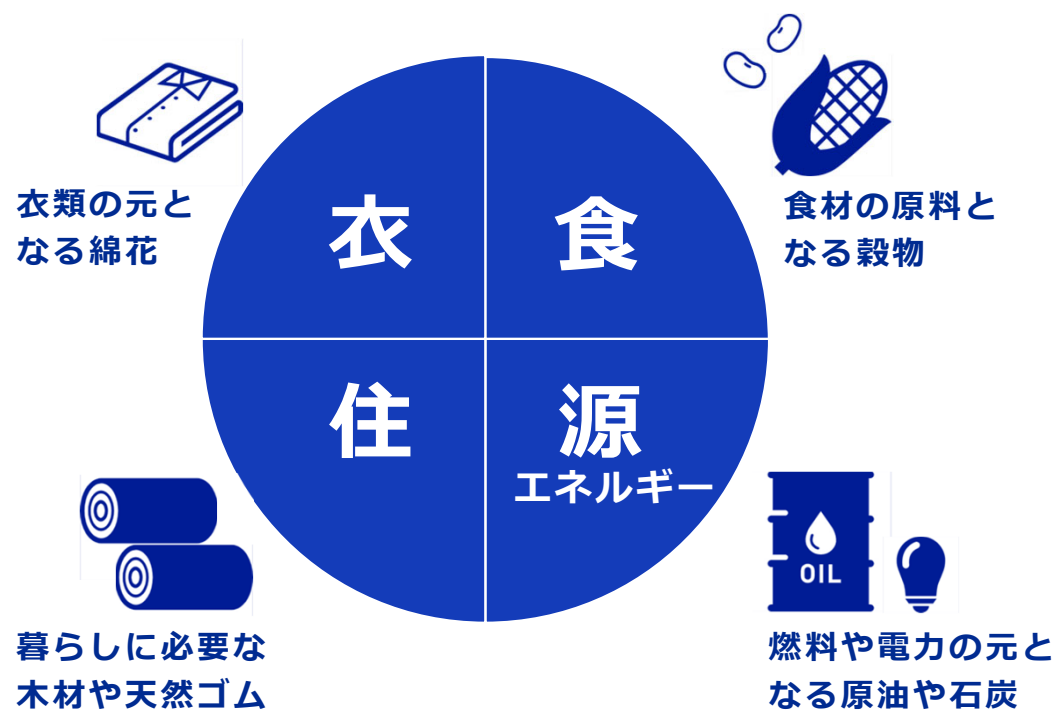
日本郵船グループ紹介

Bringing value to life.



人々の暮らしと経済活動の根幹を支える大動脈

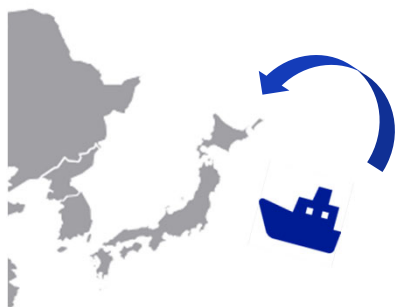
島国である日本は、主要な貨物の多くを輸入に依存している。



船で運んでいます！

日本最大の総合物流企業グループ

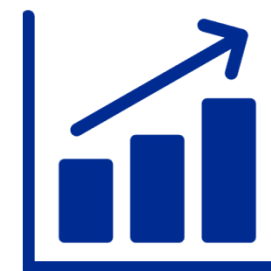
社会のため、そこに暮らす人々のために海上輸送に留まらず総合物流企業として事業を展開



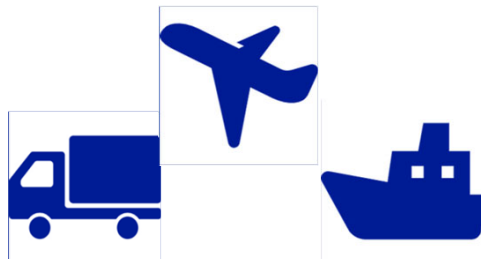
日本の貿易量の
99.6%は船が担う
(トン数ベース)



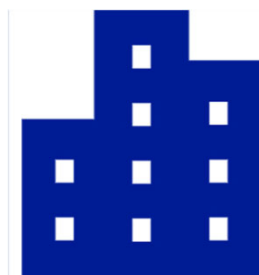
世界最大規模の
運航隻数**800隻**



売上高・経常利益
ともに業界**No.1**
(22年度 売上高 約2兆6千億円)



海陸空全ての
輸送手段を持つ



グループ会社数
約**160社**



総従業員数
約**35,000人**

多様な商材を扱い、様々な業界に貢献できる



創業以来、人々の暮らしと経済活動を支え続けている



写真提供：三菱史料館

- 1870年 岩崎彌太郎が東京・大阪・高知間で海上物資輸送を行う九十九商会（後の三菱商会）を設立。
- 1875年 欧米海運企業支配下の中、日本と上海を結ぶ航路に定期船を就航。
- 1876年 激しい運賃競争の末に市場を制して、内外航路配船の自由を勝ち取る。
（当時は郵便汽船三菱会社に改称）
- 1885年 競争相手であった共同運輸会社と合併し、**日本郵船会社**が誕生。

我ら一層の船を浮かべれば、世に一層の便をもたらし、
その利は全人民の頭上に落つる理なり



グループミッション “Bringing value to life.”

総合物流企業を支える事業

海上輸送業・
船主業・
船舶管理業

曳船業

港運関連事業

船舶関連商社
・エンジニア
リング事業

船舶関連
製造業

総合物流企業のネットワークを活かして、社会のため、
そこで暮らす人々のため、未来に必要な価値を共創していきます。

船舶運航/管理
ソリューション
事業

旅客事業

物流事業

人材派遣業

会計・
システム事業

日本郵船グループ一丸のモノ運び

#海上輸送業・船主業・船舶管理業



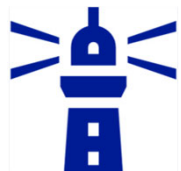
大型船を所有・管理・運航し、世界中のお客様に安全に貨物をお届けします。

#曳船業



港内で大型船の航行・離着岸を誘導する船を扱います。港湾内の安全性・効率性に貢献します。

#港運関連事業



港湾での貨物の積み降ろし、保管、船舶の入出港手続きなど、船舶・港湾インフラに関わる業務。国や地域の経済発展に重要な役割を担っています。

#船舶関連商社・エンジニアリング事業



船用品の供給、船舶のメンテ等、専門知識と技術を生かした事業フィールドは多岐に渡ります。

#船舶関連製造業



船体の設計や建造・修繕・船舶関連品の開発や製造を行います。高い品質で船舶の安全性・信頼性に寄与しています。

#物流事業



グローバルネットワークを活かした航空・海上・陸上輸送及び倉庫管理など、包括的な物流ソリューションを提供します。

モノ運びは各事業の協働により実現

日本郵船グループの技術力

提供：郵船クルーズ株式会社

#船舶運航/管理 ソリューション事業



高度な研修・開発・コンサルティング業務を通して、海事産業のイノベーションを推進します。

#旅客事業



クルーズ船やフェリーの運航やレストラン運営などお客様に非日常のひとときをお届けします。

#人材派遣業



特殊作業船に携わる海上職社員や貿易関連事務などの海運関係会社の求人ニーズに応えます

#システム事業



ICTを活用した幅広いビジネスソリューションを提供します。

#会計



海運業界から一般企業まで幅広い業種の経理業務をサポートします。



ESG経営を成長戦略とした新たな価値創造へ

豊かな社会と持続性のため、環境課題等の解決に取り組んでいます。



人材育成・福利厚生



NYKビジネスカレッジ参加者
2,228名以上

主なプログラム

日本郵船グループについて知る
ESG研修

専門的な業務知識を学びたい
**海運実務に特化した会計研修、
法務研修等**

船のことにもっと詳しくになりたい
船舶運航管理者研修、乗船研修

自分のペースで好きな分野を学びたい
通信講座



スポーツフェスティバル
31社869人



水上運動会
22社795人



保養所 **3箇所**
社員倶楽部 **2箇所**



二引会（クラブ・サークル）
合計**20班**



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

企業情報

社会の重要インフラや物流事業を技術力でサポート

会社名	日本フィールド&マリンエンジニアリング株式会社 (2025/4経営統合 旧社名 (株)ボルテック、AMCOエンジニアリング(株))
事業所	横浜、神戸、長崎
創業	1966年9月
年商	37.8億円 (2024年3月期)
従業員	183名
事業内容	技術サービス業 (電気・機械・計装・冷熱のフィールドエンジニア) ・エンジン発電設備の 性能試験、メンテナンス ・舶用機器の 性能試験、メンテナンス ・リーファーコンテナの検査・修理
許可、認証	一般建設業 (建築工事業、とび・土木工事業、電気工事業、管工事業 鋼構造物工事業、機械器具設備工事業)、労働者派遣業 ISO9001、健康経営優良法人2025



性能試験とは



現地で製品の性能を実証するための試運転を行います

性能試験の主な工程（期間は1週間から6か月）

- ・準備（工程表、試験要領書、機材の準備）
- ・現地入り。機器の据え付け、配線、配管工事箇所のチェック
- ・補機運転、主機運転
- ・連続性能試験
- ・ユーザーヘレクチャー

メンテナンスとは

設置計画

工場生産

現地工事

性能試験

引渡し

稼働

維持管理

製品寿命

設備が寿命に達するまで（15年～40年）、正常機能するよう、点検・整備・診断を行います。

メンテナンスの主な工程（期間は1日から2か月）

- ・準備（工程表、部品・機材の準備）
- ・現地入り。装置の停止
- ・点検・部品交換・測定
- ・装置の確認運転



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

企業情報・沿革

日本郵船100%資本の技術者集団です。
お互いの技術力を融合、その活動のフィールドを拡大、
皆様の多彩な要望に広くお応えして行きます。

電気

横浜電工

1966/9～2008/9

機械

大東工業

1952/12～2008/9

冷熱

東洋リーファ
メンテナンス

1972/7～2008/9

計装

旭機装

1980/8～2003/8

ボルテック

2008/10～2025/3

AMCO
エンジニアリ
ング

2003/9～2025/3

日本フィールド&マリンエンジニアリング
2025/4～





日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

企業情報・事業所

事業部	所在地・連絡先
本社・管理本部 総務経理部	〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野2-8-13 TEL : 045-290-6085 / FAX : 045-290-3317
横浜電気事業部 横浜事業所	〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野2-8-13 TEL : 045-290-6085 / FAX : 045-290-3305
ソリューションエンジニアリング事業部 横浜事業所	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町1-2-2 TEL : 045-461-6971 / FAX : 045-453-2868
神戸電気事業部 神戸事業所	〒652-0822 兵庫県神戸市兵庫区西出町1-2-3 TEL : 078-651-6031 / FAX : 078-671-7821
神戸機械事業部 神戸事業所	〒652-0822 兵庫県神戸市兵庫区西出町1-2-3 TEL : 078-651-2727 / FAX : 078-681-1386
計装事業部 長崎事業所	〒852-8002 長崎県長崎市弁天町1番11号 TEL : 050-3662-6172 / FAX : 095-864-7009
計装事業部 横浜事業所	〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央3丁目4番36号 TEL : 050-3662-6153 / FAX : 045-508-1208
計装事業部 神戸事業所	〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目1番8号 東栄ビル6階 TEL : 050-3662-6158 / FAX : 078-330-2217





日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

企業情報

基本理念

社会の重要インフラや物流事業をサポートし、持続可能な未来の創造に貢献する

Contributing to a sustainable future





日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

企業情報

基本方針

- お客様のニーズを反映した最も価値の高い製品やサービスを提供する
- お客様に心から喜んで頂けるサービスの提供を喜びとする
- 誠意、創意、熱意を持って真摯に仕事に取り組む
- 透明性と規範を持ち続ける
- チャレンジする志を持ち続ける



取扱製品・船舶

製品の性能試験・メンテナンスを世界規模で対応しています

	取扱製品	メーカー
船	舶用エンジン遠隔制御システム	ナブテスコ、三井E&S
	チップ船荷役システム	相浦機械
	Z軸推進装置	IHI原動機、布谷
	バラスト水処理装置	JFEエンジニアリング、OPTI MARINE（ノルウェー）、SanRui（中国）
	船舶防災システム	能美防災、オートロニカ（ノルウェー）
	主推進器、補助推進器	ナカシマプロペラ
	発電・配電システム	大洋電機、BEMAC、寺崎電気産業、JRCS

取扱製品・船舶

製品の性能試験・メンテナンスを世界規模で対応しています

	取扱製品	メーカー
船	LNG船向けIAS	アズビル
	エンジンモニタリングシステム	ケーイーアイシステム
	舶用計測制御機器	アズビル 他
	レーダー式液面計	Kongsberg Maritime（ノルウェー）
	舶用ボイラ燃焼制御システム	三菱重工業
	プラント計装システム	アズビル、三菱電機
	排気ガス分析計	ENDRESS+HAUSER
	船舶排気ガス浄化システム	Ecospray Technologies（イタリア）



取扱製品・発電・社会インフラ

年間数百件の性能試験・メンテナンスを実施しています

	取扱製品	メーカー
陸	ガスタービン発電設備	川崎重工業
	ガスエンジン発電設備	川崎重工業、三菱重工業、JFEエンジニアリング、 ヤンマーエネルギーシステム、IHI原動機、ダイハ ツディーゼル、WARTSUILA（フィンランド）、 MWM（ドイツ）
	上下水処理設備、自動車試験装置	シンフォニアテクノロジー



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

当社事業の特徴

- ・多種多様なメーカー、機器に触れることができる
- ・多種多様な船に携わることができる
- ・様々な立場で仕事ができる（メーカー、代理店、船主監督）
- ・国内、海外、ご当地の食べ物・文化に触れることができる
- ・エンジニアとしてのキャリアプランが豊富

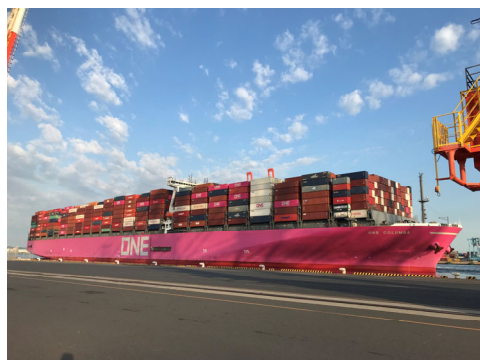


電気・船舶部門

- 現地性能試験
- 現地メンテナンス

現場は国内・海外の港や造船所になります。
国内は西日本、海外はアジアが多くを占めます。

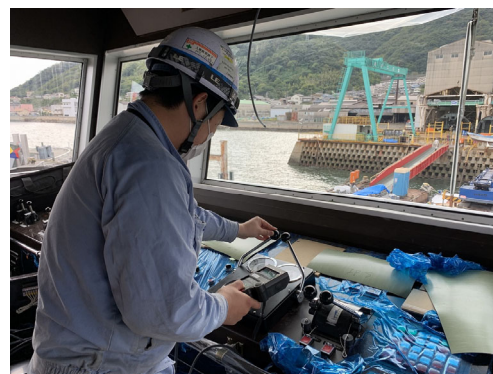
大型貨物船が中心です



チップ船荷役システム



Z軸推進装置の操縦装置とプロペラ



発電機点検



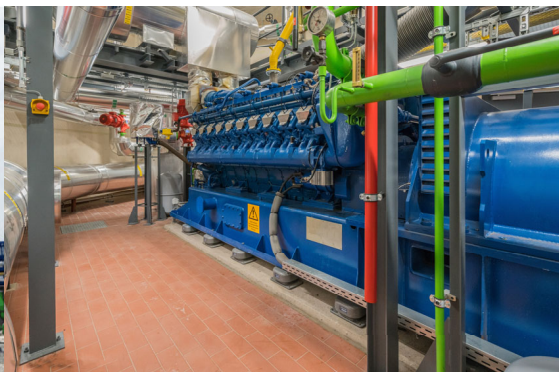
ZP-21

電気・発電部門

- 現地性能試験
- 現地メンテナンス

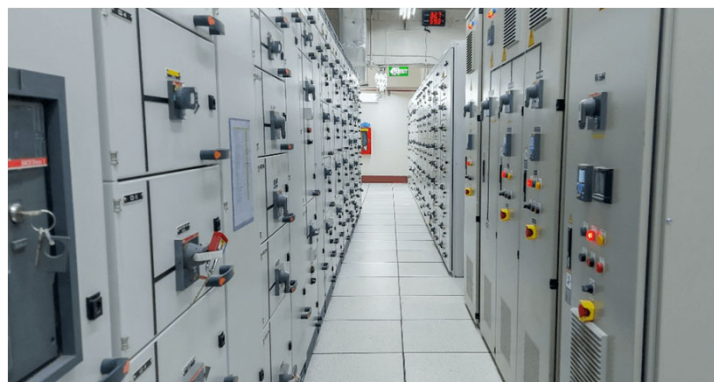
現場は国内の工場、ビル、病院、商業施設内にある事業用・自家用・非常用発電所になります。

ガスタービン・ガスエンジン発電設備（500～30,000kWが主流）



配電・制御システム

制御システム点検



機械・発電部門

○ 現地メンテナンス

現場は国内の原発、工場、ビル、病院、商業施設内にある事業用・自家用・非常用発電所になります。

現地点検



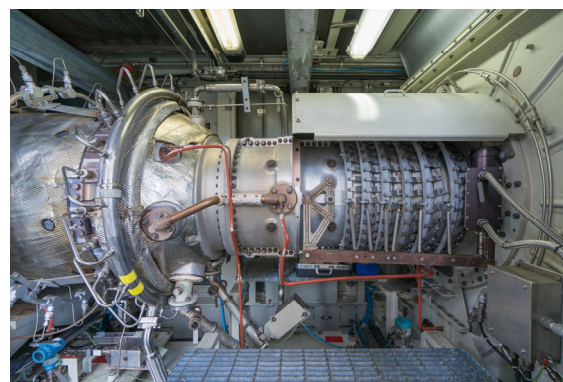
工場整備



現地点検



ガスタービン





日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

電気・設計部門

- 企画・設計・製造
- アフターサービス

企画・設計から部品調達、製造、品質管理、出荷、メンテナンスまでワンストップサービスが可能です。

海洋生物付着防止装置



煤塵飛散防止装置



電気設備の設計・プログラミング

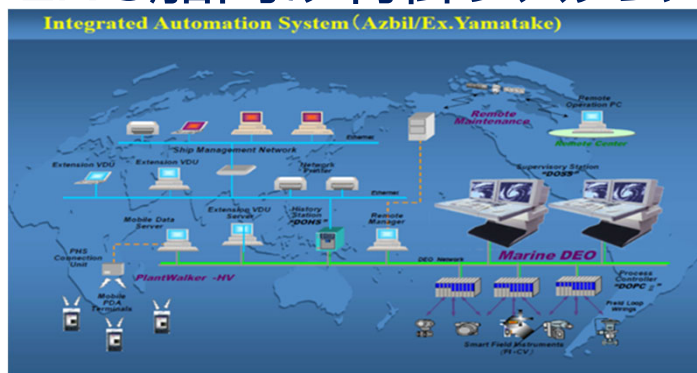


電気・計装部門

- 性能試験
- メンテナンス

現場は国内・海外の港や造船所になります。
国内は西日本、海外はアジア6割、中東3割です。

LNG船向け制御システム



船舶排気ガス浄化システム



エンジンモニタリングシステム



レーダー式液面計測システム



リーファー部門

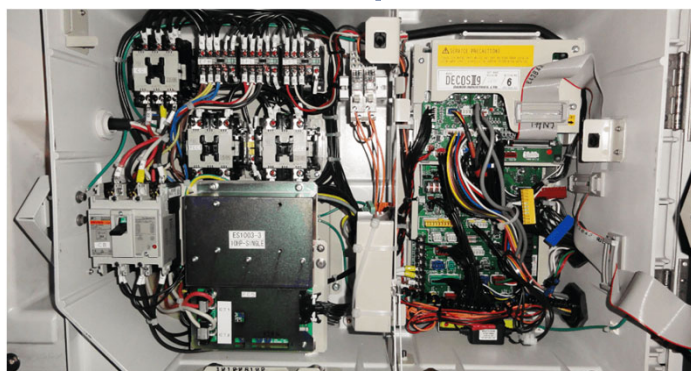
- 現地性能試験
- 現地メンテナンス

現場は東京の大井コンテナふ頭、品川ふ頭。横浜市内のコンテナ修理・整備工場になります。

海上リーファーコンテナ



コントロールパネル



操作パネル、圧縮機



点検中





日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

エンジニア派遣

3か月～3年間、客先の部署へ常駐。性能試験、工事監督、設備の維持管理など行っています。

客船（船員、維持管理）



ガス発電所（巡視点検）



造船所（電気・機械工事監督）



公共電気設備（性能試験）



一日の流れ

日帰り出張のケース

時刻	内容
8:30	出勤
8:35	朝のミーティング、現地へ車で移動
9:30	現地到着、お客様とミーティング
9:45	午前の作業（途中15分程度休憩あり）
12:00	お昼の休憩
13:00	午後の作業（途中15分程度休憩あり）
15:00	作業完了、お客様へ報告
15:30	会社へ車で移動
16:30	帰社、報告書作成
17:00	退勤

一週間の流れ

1週間の宿泊出張のケース

曜日	内容
前週の金	出張準備（機材、交通、宿泊）
月	出勤、現地へ移動（車、新幹線、飛行機）、ホテル泊
火	ホテルから現地へ通勤、作業、作業後ホテル泊
水・木	同上
金	会社へ移動、帰社、片付け、退勤
翌週の月	報告書作成、旅費精算、機材片付け

社員への支援・人材育成

NYKG/HR理念 グローバルなフィールドでたゆみなく育成する

- ・業務を行うことだけでは得られない「**知識**」を得て、新たな「**視点・意識**」を持つ
- ・入社からベテランに至るまで多様な研修プログラムを用意
 - ・一般ビジネススキル・語学・マネジメント系
 - ・技術系
 - ・資格系

社員への支援・人材育成

入社後、成長に向けた支援を行っています。

・一般ビジネススキル・語学・マネジメント系

ビジネスマナー、ロジカルライティング、話し方研修、問題解決力、メンター、リーダーシップ、マネジメント基礎、部下育成力、英語、サステナビリティ

・技術系

特別教育、技能講習、電気・機械・冷熱基礎教育、OJT、メーカー研修

・資格

自家発専門技術者、電気工事士、電気主任技術者、船舶電装士、電気施工管理技士、消防設備士



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門

社員への支援・福利厚生

働きやすい環境を整えています

・休暇制度

年次有給休暇、夏季休暇、慶弔休暇、出産休暇、永年勤続休暇
子の看護休暇、治療休暇

平均有給休暇取得日数 **21.6日**（2024年度）

・各種手当

住宅手当、通勤手当、家族手当、技能・資格手当、移動手当
資格取得奨励金、永年勤続表彰、持ち家補助





日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

社員への支援・福利厚生

・社内コミュニケーション

社員奨励費、グループ活動補助費、NYKグループスポーツフェスティバル
NYKグループ水上運動会

・健康経営・その他

健康診断、特定保健指導、ストレスチェック、再検査補助、がんマーカー検査
独身寮、借上社宅、勤労者福祉共済



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門

健康経営優良法人2025を取得。
従業員の健康管理をサポートしています





新卒採用 募集要項

項目	内容
募集職種・人数	フィールドエンジニア（電気、機械、冷熱、計装）5名
必要な知識等	学科不問、普通自動車運転免許必須（AT可）
初任給、手当	¥206,500（本科）、¥213,000（専攻科） 食事手当¥10,500、住宅手当（¥13,000～）は全員支給
賞与	年3回（夏、冬、期末）
勤務地	横浜、神戸、長崎
勤務時間	7.5時間（8:30～17:00）、休憩12:00～13:00
休暇	年次有給休暇10日、入社時付与（1日/半日/時間単位）、 夏季休暇5日（6月～10月の期間中）、特別休暇 他
休日	完全週休二日制（土日祝）、創立記念日10/1、年末年始12/30～1/3
選考方法	面接、作文、適正適職診断

インターンシップ 募集要項

項目		内容
実習日数		1～5日間。6日間以上は応相談
実習場所		横浜または神戸
交通費		支給あり。交通費、宿泊費、食費等弊社負担
募集人数		1回の開催で3名程度
実習内容	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・現場見学（船舶、発電所、港湾ターミナルなど） ・OB/OG、若手社員との交流会
	電気系	<ul style="list-style-type: none"> ・電動機軸受交換 ・制御盤の配線チェック、PLCプログラム・インバータ設定変更など ・保護継電器の模擬試験
	機械系	<ul style="list-style-type: none"> ・機関開放整備及び計測 ・電動機のセンタリング、ポンプ・過給機開放整備 ・ピストン・ライナー計測、排気弁ラッピング整備

ご清聴ありがとうございました



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

採用に関するお問合せ先

部署名	所在地・連絡先	メールアドレス
横浜人事チーム	〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野2-8-13 TEL : 045-290-6085 / FAX : 045-290-3317	JFMENG.ML.SAIYOU@jfmeng.co.jp
神戸人事チーム	〒652-0822 兵庫県神戸市兵庫区西出町1-2-3 TEL : 078-651-6031 / FAX : 078-671-7821	JFMENG.ML.HR.KOBE@jfmeng.co.jp
長崎人事チーム	〒852-8002 長崎県長崎市弁天町1番11号 TEL : 050-3662-6169 / FAX : 095-864-7009	JFMENG.ML.HR.NAGASAKI@jfmeng.co.jp





日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering



社員インタビュー



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

2021年4月新卒入社
機械工学系卒
横浜事業所 機械・発電部門

・入社のきっかけ 船や機械が好きで機械科へ進学、現場を知る先生が推薦

私は函館出身です。海はとても身近な存在で、よく友達と釣りに出たり船を見に行ったりしていました。祖父は昔漁師をしていたのでその姿がずっと心に残っていて、進学時も「船の機械の仕事に関わりたい」と思って水産高校の機械科を選びました。

学校で習ったのは船舶の基本からです。エンジン実習では本当にエンジンを全部バラして、もう一度動かせるように数カ月かけて組み立てたこともあります。ほかにも部品を旋盤で削ってハンマーの頭を作ったり、アルミ箔を炉で溶かして表札を作ったり、実習が多い学校だったので「自分の手で目指した形に仕上げる面白さ」を体験できました。

高校の先生方は皆さん海の仕事に関わっていた人がほとんどで、以前の工作经验から担任の先生が「ボルテックはいいと思う」と薦めてくれました。調べてみるとエンジン分解などのエンジニアリングに注力している会社です。自分がやりたかったことがそのままできると思ったので、この1社だけに応募して面接を受けました。そのとき「機械系の部署に入りたい」と話して入社後は希望の部署に所属しています。

・仕事を覚えるまで 同じ「機械」でも工具から違い、先輩に聞きまくる

ただし、学んだ「機械」と現場の「機械」は全然違います。分解時に使う工具にも種類があり、特殊な用途に合わせたものや独自で使っているものなどさまざまです。最初の頃は「〇〇を持ってきてくれ」と言われても形が分からず、置き場所も分からなかったのが先輩に聞いてばかりでした。分解手順も流れは分かりますが、現場ごとに仕様や状況が違うエンジンについては未知です。とにかく入社してしばらくは「これは何ですか」「それはどれですか」と聞きまくっていたと思います。1つ1つに丁寧に答えてもらって知識をまとめていきました。学ぶためによく使っていたのはノートや写真です。教えてもらったポイントを書き留め、その日に持っていた工具類を写真に残して覚えました。「エンジンをどのくらい分解するか」でも必要な工具は変わります。次に似た現場に行くときは「これが必要だな」と復習しながら準備していました。

1年ぐらい経つと、軽微な点検作業であれば「何を持ってどうすればいいか」が分かってきます。大きな点検になるとエンジンを全部バラして数カ月かけて組み立てる工程になりますが、だんだん周りが見えてきて「あそこまで進んでいるから次はこの作業だろう」「あれを外すならこの工具を用意しよう」と考えて動けるようになります。自分がスキルアップしている感覚があって仕事が面白くなっていきました。

社員インタビュー



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

2021年4月新卒入社
機械工学系卒
横浜事業所 機械・発電部門

・仕事のやりがい 私たちは、産業の基礎を支える仕事をしている

関わるエンジンもさまざまです。誰もが知るような大手メーカーの工場で、数基のエンジンを数カ月かけて点検する仕事もあります。クレーンを使って運ぶような大きな部品を1つずつ外し、ピストンまで抜いて清掃・点検した後はまた稼働できるよう間違いなく組み立てます。運転試験は、圧力や効率、点火するタイミングなども調整する繊細な作業です。手をかざして熱の漏れがないか確認し、ライトで可動部を照らして油漏れがないかも見ていきます。

学校で習ったときは「組み立て直して動く」というレベルでOKでしたが、今私たちが扱うのはお客様の事業を支える大切な設備です。ボルト1つ、組立数ミリの差でエンジンは動かなくなるので、とても緊張感があります。これらは働き始めてから意識したことかもしれません。そのぶん試験で無事にエンジンが回転し、広大な工場に電気が行き渡る様子を確認できると達成感があります。

業務としてはエンジンの定期点検ですが、携わる業界は自動車・化学・リサイクル・船舶など幅広いです。どの現場でもエンジンがなければ発電できず、電気がなければ稼働できません。私たちはエンジンという面から産業を支える役目を担っているのだと思います。

・目指すべき未来 技術と感覚を磨いて、さらに成長していきたい

先輩方がすごいのは、技術知識だけでなく体の使い方や感覚まで研ぎ澄まされているところです。例えば自分では抜けなかったピストンも、先輩が壁面を意識して少し角度を変えただけでスッと抜ける。こういったコツは経験していくしかないので先輩に聞きながら上達させていきたいところです。

社会人になって身につけたのは「とにかく分からなかったら聞いてみる」ことですね。最初は質問していいか迷っていましたが、先輩に助けられて今はどんどん聞けるようになりました。機械が好きで積極的に人と話す姿勢があれば、この会社で技術を身につけて成長できると思います。

社員インタビュー



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

2019年4月中途入社
機械工学系卒
神戸事業所 機械・発電部門

・入社のきっかけ 1種類ではなく、いろいろな機械を扱いたくて転職

前職はバッテリー工場勤務で、高卒で入ってから5年ほど勤めていました。工場だと「バッテリー」という1つの製品をずっと作り続けることになります。もちろんこの仕事にも意義はありますが、自分にとっては少しづらく、4年目くらいから「このまま続けていていいのだろうか」と悩み始めました。転職を考え、「もっと多種の機械を扱う仕事をしたい」と思って見つけたのがボルテックでした。

ボルテックを知ったのはハローワークの検索からです。希望職種を「機械系」に絞って探したところ、リストに上がってきました。数ある他社と比べて魅力を感じたのは、仕事内容に「大型エンジン整備」と書いてあったからです。不器用な自分でも大型なら行けるかもしれないという思いがありました。以前から働く場所にはあまりこだわらず、好きな機械を扱えるなら全国どこへでも行くつもりでした。私の出身は熊本で、新卒で入った会社は三重にあり、転職した今は神戸にいます。住む場所は気になりましたが、寮を完備する会社なら大丈夫だと考えてボルテックを選びました。

・機械への興味 整備士の父の背中を見て、機械は面白そうだった

父が車の整備士をしているので、その影響で昔から機械に触るのは好きなほうだと思います。ただ取り外した部品を見ると非常に小さく細かいので、自動車の仕事は手先が不器用な自分には難しいとはいつも感じていました。でも機械は好きなので地元の工業高校の機械科に進みました。

私が通った学校では、1年目は工具の使い方などの基本を学びます。2年生から実習で少しずつ機械を扱うようになり、旋盤加工や溶接、鋳造などを一通り習います。3年生の実習では地元企業に協力してもらい、船舶用の金釘など、作った部品を納入する経験もしました。

社員インタビュー



日本フィールド&マリン
エンジニアリング株式会社
Japan Field&Marine Engineering

2019年4月中途入社
機械工学系卒
神戸事業所 機械・発電部門

・転職時の気持ち 未知である「大型エンジン」への不安はあまりなかった

でもボルトテックに入って扱うことになる「大型エンジン」についての知識は持っていません。仕事内容について想像はしますが、それが合っているかどうか不明です。それでも転職してチャレンジしたのは「何事もやってみないと分からない」と考えたからです。確かに最初は心配しましたが、まず手を動かして自分で体験しなければ何も言えません。もし想像と違ったとしても、それはそれで貴重な経験になります。どちらの結果でも必ず自分の糧になると気づいてからは不安がなくなりました。

面接では「1つの機械ではなく、さまざまな機械を扱う仕事をしたい」と伝えたとします。1月に面接を受けて採用通知をもらい、その年の4月に転職しました。

・仕事を覚えるまで 少しずつ任される場所が増え、自信が持てた

入社して最初に手がけた現場は、陸上での自家発電用エンジンの整備です。発電機としては中規模で5人ほどのチームで向かいました。当初は現場の流れが全く分からないので、先輩の作業を見学するところからスタートです。工具の受け渡しをしながら形を覚えたり、実際に動かしている様子を見ながら作業を学んだりしていました。しばらくすると「ちょっとここやってみて」と少しずつ任される場所が出てきます。例えばフィルターの交換やエンジンを動かす油の注入などですが、それらは小さくても大切な作業です。本当に何も知らない状態から入社したので、先輩から任せてもらえる場面があると「成長を認めてもらっているのかな」と励みになりました。

中途入社でとても心強かったのは、先輩方のフォローです。分からないことがあればすぐに聞くことができ、歴の長い先輩からの確かな指示が出ます。先輩でも分からないことがあれば一緒に調べることもあります。経験だけに頼らず、いつでも向上心を持って新しいやり方を見つけようとする先輩の姿はかっこよく、私も見習いたいと思っています。

目指すべき未来 毎日違う現場、作業を考えていくのが楽しい

転職してよかったのは、毎日「同じではない仕事」に携われるところです。エンジン点検という業務は共通でも向かう現場はさまざまで、同じ工場に置かれたエンジンでも1基目と2基目では状態が変わります。分解のたびにプロセスを考え、効率的に工具を使わなければいけません。先輩と協力しながら問題を解決していく作業はとても楽しいですね。あと、自分ではなかなか行かない県へ出張で行けるのも楽しみです。これは転職してから気づきましたが、自分は新しい土地でもどんどん馴染める性格だったようです。考え方を固定することなくさまざまな現場を体験できるので転職してよかったと思います。今5年目を迎えていますが、これからも多くの人の意見を取り入れながら経験を積み、さらに成長していきたいと考えています。